

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～ F組

使用教科書：（高等学校 言語文化（数研出版））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特性を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他社との関わりの中で使える力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたる国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で使える力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に關わりとる態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	感	配当 時数		
		言語	書							
1 学期	<p>【知識及び技能】</p> <p>古文の世界を楽しむ1 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に關わりとる。</p>	<p>「見のそら後」（宇治拾遺物語）</p> <p>・歴史的仮名遣いの読み方を理解させる。</p> <p>・古文を音読し、古文と現代文の違い・歴史的仮名遣いで表記されている・主語や助詞の省略が多い・現代語には用いられない言葉がある・現代語とは異なる意味を持つ言葉がある・繰り返しや並びの文法とは異なる文法規則も用いられているなどについて気づかせる。</p> <p>・「いろは歌」の学習を通して「あ」や「い」などの仮名遣いについて学習させる。</p> <p>・古語の読みかたや読みかたを覚えさせ、重要語句を辞書で引き、意味を理解させる。</p> <p>・「見のそら後」の文脈や二人の関係性を推測し、そこから当時の文化や風習、社会情勢について理解させる。</p>			<p>【知識及び技能】</p> <p>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。〔B(1)ア〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>積極的に自主的な読書や心算をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。</p>					6
	<p>【知識及び技能】</p> <p>古文の世界を楽しむ2 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係性を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に關わりとる。</p> <p>定期考査</p>	<p>「餘非道徳証明」（宇治拾遺物語）</p> <p>・古文の描写から当時の建物の造りや役職などについてインターネット等を活用して調べ、理解させる。</p> <p>・『宇治拾遺物語』と『今昔物語集』の話を読み比べ、類似点と相違点についてまとめさせる。</p>			<p>【知識及び技能】</p> <p>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係性を踏まえ、内容の解釈を深めている。〔B(1)エ〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>粘り強く『宇治拾遺物語』収録話と『今昔物語集』収録話の違いを抽出し、学習課題に沿って両話の性格の違いをまとめようとしている。</p>					6
	<p>【知識及び技能】</p> <p>受け継がれる古文1 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>文章や文脈に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に關わりとる。</p>	<p>「羅生門」</p> <p>・本文を読み、5W1Hを読み取らせさせる。</p> <p>・『羅生門』等の作品の記述や中学校での歴史の学習等から、設定されている時代背景について理解させる。</p> <p>・「羅生門」に登場する人物や下人の人物像について考えさせる。</p> <p>・「老嫗」の言葉から「老嫗」の論議や「老嫗」とは何かについて考えさせる。</p> <p>・書き換えられた結末部分によって読者の印象がどう変わるかや作者の創作意図について考えさせる。</p> <p>・「下人」がこの後どうなったか自分の考えを文章にまとめさせる。</p> <p>・比喩表現の効果について理解させる。</p> <p>・「老嫗」の登場について調べさせる。</p>			<p>【知識及び技能】</p> <p>文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。〔(1)エ〕</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B(1)イ〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。</p>					9
<p>【知識及び技能】</p> <p>受け継がれる古文2/探究の扉 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係性を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に關わりとる。</p> <p>定期考査</p>	<p>「羅城門の上層に登りて死人を見る」</p> <p>・『今昔物語集』『羅城門の上層に登りて死人を見る』の語句をまよとめさせる。</p> <p>・類似点や異なる効果をもたせているか自分の考えを文章にまとめさせる。</p>			<p>【知識及び技能】</p> <p>言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。〔(1)ア〕</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係性を踏まえ、内容の解釈を深めている。〔B(1)エ〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>粘り強く『羅生門』と『今昔物語集』の差異を見極め、学習課題に沿って考査しようとしている。</p>					4	
<p>【知識及び技能】</p> <p>記録する文学 我が国の言語文化に特徴的な語句の働きを捉え、それらの文脈的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語感を磨かすことができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を捉え、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に關わりとる。</p> <p>定期考査</p>	<p>「神護の日記から」</p> <p>・神護の日記から「私」と「当間世」の心情とその変化について読み取らせる。</p> <p>・神護の経緯について調べてまとめさせる。</p> <p>・日記内の「当間世」の生き方について自分の考えを文章にさせる。</p>			<p>【知識及び技能】</p> <p>我が国の言語文化に特徴的な語句の働きを捉え、それらの文脈的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語感を磨かすにしている。〔(1)ウ〕</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を捉え、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。〔B(1)イ〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>近現代に書かれた戦争文学を積極的に讀み、学習課題に沿って発表しようとしている。</p>					6	
2 学期	<p>【知識及び技能】</p> <p>語感を磨く 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に關わりとる。</p> <p>定期考査</p>	<p>「御覧と三夏」</p> <p>・「私」から見た姉妹の性格の違いを読み取らせさせる。</p> <p>・「小4の時の運動会」が話題に出る前と後で「姉」に対する「私」の心情がどのように変化してきたか読み取り説明させる。</p> <p>・「御覧と三夏」という題名の意味について話し合わせる。</p> <p>・他に題名をつけるとしたらどのような題をつけるか話し合わせる。</p>			<p>【知識及び技能】</p> <p>文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。〔(1)エ〕</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。〔B(1)ウ〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>積極的に自主的な読書や心算をとらえ、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。</p>					8
	<p>【知識及び技能】</p> <p>現代にも生きる教え 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に關わりとる。</p> <p>定期考査</p>	<p>「つれづれなるままに」</p> <p>・「見る人」の行動を学ぶに「徒然草」</p> <p>・古文を音読し、作者の主張を読み取り、わかりやすく言葉で説明させる。</p> <p>・古典の世界の人々と現代の人々の考え方の共通点と相違点について話し合い、発表させる。</p>			<p>【知識及び技能】</p> <p>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。〔B(1)ウ〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>積極的に自主的な読書や心算をとらえ、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。</p>					7
	<p>【知識及び技能】</p> <p>和歌による心の交流/探究の扉 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係性を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に關わりとる。</p> <p>定期考査</p>	<p>「芥川」（伊勢物語）</p> <p>・在原業平中納言の女（今昔物語集）</p> <p>・古文を音読し、登場人物の行動と心情を理解させる。</p> <p>・和歌の形式や修辭法について調べさせる。</p> <p>・「白玉か」の和歌などを用いられるか理解させる。</p> <p>・和歌に込められた男の心情について理解させる。</p> <p>・「理解させたうえで自分の言葉で説明させる。」</p>			<p>【知識及び技能】</p> <p>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係性を踏まえ、内容の解釈を深めている。〔B(1)エ〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>粘り強く『伊勢物語』と『今昔物語集』の違いを抽出し、学習課題に沿って文章表現についての話し合いに参加しようとしている。</p>					7
3 学期	<p>【知識及び技能】</p> <p>平安室町文学の世界/探究の扉 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係性を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に關わりとる。</p> <p>定期考査</p>	<p>「雪のいと高う降りたるを」（枕草子）</p> <p>・「春伊勢」…（白氏文集）</p> <p>・本文を音読し、登場人物とその関係性について理解させる。</p> <p>・歌謡の種類とその使い方について理解させる。</p> <p>・「枕草子の雪」の典拠となつた白居易の漢詩を音読し、その内容と枕草子とを比較させる。</p>			<p>【知識及び技能】</p> <p>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係性を踏まえ、内容の解釈を深めている。〔B(1)エ〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>粘り強く『枕草子』と『白氏文集』の主題の違いを考え、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。</p>					6
	<p>【知識及び技能】</p> <p>日本語の中に生きる漢文/故事と成語 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を捉え、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に關わりとる。</p> <p>定期考査</p>	<p>「入門」</p> <p>・漢文の口調に慣れさせる。</p> <p>・返り文と送り仮名のきまりに習熟させる。</p> <p>・漢文に従って漢文を書き下し文にさせる。</p> <p>・「漢文の利」という故事成語に基づき漢文の内容を理解させる。</p>			<p>【知識及び技能】</p> <p>我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。〔(2)ア〕</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を捉え、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。〔B1オ〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>学習課題に沿って、粘り強く漢文の訓読、書き下し文に取り組もうとしている。</p>					6
									1	合計 70